

《2019年8月（通算276回）月例会報告》

お宝映像上映会<ラグビー編>

伝説の「2015 日本 vs 南アフリカ」DVD 観戦

ー「1ヶ月後に始まる！」日本開催のラグビーW杯に先立つ観戦ガイドー

【日 時】2019年8月23日（金）19：00～21：50 ごろ（～23：20 ごろすべて終了）
18：30 アップ開始（2015大会のダイジェスト映像を楽しみつつ飲み食いしながら）
19：15 キックオフ（日本 vs 南アフリカ）
試合後は飲み食いしながら懇談
（スクリーンにはフェルナンド・トーレスの引退試合&セレモニーが映されていた）

【会 場】ダイニング翼 <https://r.gnavi.co.jp/4dxzngdc0000/map/>

【テーマ】ラグビーW杯2015：伝説の「日本 vs 南アフリカ」DVD 観戦
ー日本開催のラグビーW杯に先立つ観戦ガイド

【参加者（会員・メンバー）8名】

大河原誠二（桐窓サッカー倶楽部）、奥山純一（プログラマー）、岸卓巨（サロン2002）、北原由（青梅FC）、嶋崎雅規（国際武道大学）、徳田仁（㈱セリエ）、中塚義実（筑波大学附属高校）、横尾智治（筑波大附属駒場中高）、

【参加者（未会員）8名】

古賀淳市（都立六郷工科高）、古賀裕喜子（小学校の栄養士／ランニング趣味）、齋藤守弘（日本ラグビー協会）、佐藤渚（東京エレクトロン(株)／観戦ファン）、杉崎宏（Le Coeur）、鈴江智彦（三菱UFJリサーチ&コンサルティング）、原和也（公務員）、吉田毅（桐蔭横浜大学）

注）参加者は所属や肩書きを離れた個人の責任でこの会に参加しています。括弧内の肩書きはあくまでもコミュニケーションを促進するために便宜的に書き記したものであり、参加者の立場を規定するものではありません。ご本人の了解が得られた範囲で公開しています。

<目 次>

- I. 趣旨と概要
- II. 当日の様子
- III. 参加者からのコメント（投稿順）

I. 趣旨と概要

1. 月例会案内より (2019年7月29日配信「サロン通信：2019年8月号」より)

(前略) さて、7月14日の公開シンポジウム「ラグビーワールドカップを語ろう！」に続き、8月の月例会ではラグビーのお宝映像を楽しみます。「お宝」にはいろいろあるけど、やはりラグビーワールドカップ前にみておきたいのは、前回大会の「あれ」ですね。会場は、4月の月例会でも使わせてもらった「ダイニング翼」。伝説のペルー料理屋「ティアスサナ Tia Susana」の後継店です。

仲間を誘って集まりましょう！

添付ファイルをご活用ください (すでに HP と facebook 上で案内を開始しています)。

《2019年8月(通算276回)「お宝映像上映会(ラグビー編)」案内》

【日時】2019年8月23日(金) 19:00~21:30

18:30 アップ開始 (2015大会のダイジェスト映像を楽しみながら)

19:15 キックオフ (日本 vs 南アフリカ)

【会場】ダイニング翼 <https://r.gnavi.co.jp/4dxzngdc0000/map/>

東京都新宿区信濃町8-11 坂田ビルB1F

最寄駅：信濃町駅より徒歩5分／四谷三丁目駅(出口1)より徒歩7分／国立競技場駅(出口A1)より徒歩8分

【テーマ】ラグビーW杯2015ー伝説の「日本 vs 南アフリカ」DVD観戦

ー日本開催のラグビーW杯に先立つ観戦ガイド

【参加費】3000円(食事・1ドリンク込み)

【概要(NPOサロンのある理事より)】

1か月後の2019年9月20日から11月2日までの7週間、4年に1度のラグビーワールドカップが日本で開催されます。前回2015年イングランド大会では、ラグビーワールドカップで24年もの間勝利のなかった日本代表が、世界ランキング3位の強豪・南アフリカに劇的勝利する偉業を成し遂げました。日本中が興奮した80分間の激闘「日本 vs 南アフリカ戦」を、初心者でも楽しめる解説を交えながら、皆さんでわいわい観戦したいと思います。

ちなみに、この文を書いている筆者は、正直、ラグビーのルールすら分からないド素人です。私と同様にラグビーに興味を持っていない「ラグビー初心者」の方々に、一人でも多く集まっていただきたいと思います。そして、逆に私をはじめとするラグビー初心者「ラグビーの魅力」を存分に伝えていただける「玄人」の方々にも集まっていただき、お宝映像を題材に、日本開催のラグビーワールドカップ前にラグビーの観かたを教えてくださいたいと思います。

【参加申込】サロン2002のHPからお申し込みください。(当日参加可能)

II. 当日の様子

1. 月例会報告（簡略版）より（2019年8月25日配信。文責：中塚義実）

8月の月例会は「お宝映像上映会」で、初のラグビー観戦でした。ラグビーワールドカップ2015の1次ラウンドBグループ（プールB）日本 vs 南アフリカ、「世紀の番狂わせ」と言われたゲームです。最後のシーンは何度も目にしているのですが、最初からみる機会は初めての方が多いかもかもしれません。この機会に“わかっている人たち”の解説を聞きながら観戦できたのは大変有意義でした。

定刻に始まった上映会は初参加の方が多く、新たな出会いも楽しいものでした。「ラグビー」や「ワールドカップ2019」に惹きつけられた方々、前々日に開かれた教員免許状更新講習でこの話を聞いて参加された方、タイミングよく中塚に電話をしたため参加することになった方など、ふたを開けないとわからないおもしろさに溢れていました。まずは参加者名のみ報告します。

今回の月例会報告は、参加者によるコメントで構成します。ワールドカップ開幕1週間前（9月13日）までにコメントをお寄せください。字数制限は特にありません。（以下略）

2. 時程と大まかな内容

18:20ごろ 中塚と吉田氏が入店。嶋崎氏がすでに準備を始めていた。本日の“お宝映像”はYOUTUBEでなく、中塚が持参したDVDを用いる（NHKBSで放送されたフルバージョン）

18:30頃 「予習」開始。ラグビーワールドカップ2015のダイジェスト映像

19:00頃 開会&参加者自己紹介（この時点で11名）

19:15頃 「日本vs南アフリカ」映像開始。両国の国歌から試合を見ながら「よくわからない」ことをどんどん質問。嶋崎氏や齋藤氏、古賀氏らが回答してくれて密度の濃い観戦であった。

20:00頃 前半終了。ハーフタイム中に、遅れて参加された方の自己紹介。質問タイムも設けようと思っていたが、自己紹介が終わったころには後半開始。ハーフタイムは10分間。あっという間に終わる（以前は5分間でピッチから出はならないルールだった）。

20:10頃 後半開始。南アフリカに先行されるが日本も五郎丸のPGなどで追いつがる。後半半ばに日本はど真ん中を割られトライを許す。ここで「やっぱりな」「勝負ありやな」と思ったが、その後も踏ん張り、会場のムードが少しずつ変わってくるのを映像からも感じる。
そして最後のあのシーン…

20:50すぎ 試合終了。大勝利に改めて乾杯！
その後しばらくは席を移動しながら懇談。ほとんどすべ他の人が初対面なのでおもしろい。
ドリンク代はその場で精算。

21:50ごろ 全員で集合写真。日本ラグビー協会の齋藤氏よりラグビーワールドカップへ向けてのコメント。さらに齋藤氏手作りの「日程表」が配られた。わかりやすい！
中締めは嶋崎氏。ラグビーならではのエールで締めくくった。
その後も残りたい人は残る。ワインを2本あげた。

23:20頃 終了・解散



Ⅲ. 参加者からのコメント（投稿順。9/17 締切）

◆中塚義実（8/25）

この試合はNHKBSで、眠い目をこすりながらリアルタイムで見っていたのを思い出す。前半から南アフリカに食い下がり「ようがんばるとるなあ」と思ったが「そのうちやられるやろ」と多少冷めた目で見ていたのは事実である。後半半ばに中央を割られたあたりで「やっぱりな。ようがんばったけど、相手は南アフリカやから…」と納得して寝る支度をはじめたが、まだまだ踏ん張っている。会場の雰囲気も実況の声のトーンも、このあたりかから「行けるかも」になり「行ってくれ」に変わってきたのを、今回改めて映像をみて感じた。南アフリカが少しだけ弱気な判断をし、日本が勝つための判断をした。人生に例えてもおもしろいゲームであった。

この貴重な勝利がありながら、1次ラウンドを突破することはできなかった。ラグビー特有の勝点制度にはまだなじめない。そして、この貴重な勝利と盛り上がりがありながら、国内リーグの盛り上げにつなげられない日本のラグビー界。もったいない限りである…。

日曜夜9時の「ノーサイドゲーム」を最近見始めた。はじめの2回を見逃したのであらかじめいたのだが、2話続けて録画をみる機会があり、いきなり引き込まれた次第である。本を買って読み始めたがメチャクチャおもしろい。ワールドカップが盛り上がり、それが国内ラグビーの盛り上がり、構造改革につながればと思う。

その前に、ワールドカップを現地で楽しもう。9月22日は横浜でアイルランド vs スコットランド、9月25日は釜石でフィジーvs ウルグアイを観戦する。純粹に楽しみである。

◆嶋崎雅規（9/7 南アフリカ戦の翌日）

あの試合をノーカットで観るのは、4年前のあの日以来であった。ダイジェストは何十回となく見ていることもあって、試合の記憶はかなり鮮明であった。あの試合は、やはり五郎丸の力によるところが大きかった。ペナルティーゴールで3点ずつ確実に得点し、大きく離されることがなかったことから、世紀の大逆転につながった。

あれから4年後、昨日の日本代表対南アフリカ代表の試合、7-41と日本は完敗を喫した。何より南アフリカは本気だった。現在考えられるベストメンバー。SH・デクラークとSO・ハンドレ・ポラードがハイパントを上げ、そこに大男たちが一気になだれ込んできた。4年前の試合では、個人で突破を図ってきた南アフリカが、一団となつてなりふりかまわず勝ちにきた。これが、彼らのプライド

なのだろう。両チームの実力差が、しっかり出た試合であった。残念だったのは、日本が相手のミスからの1トライに終わったこと。気になるのは、けがで退場した福岡とマフィの状態。

さて、開幕まであと2週間。本物のラグビーが目の前で見られることが、何より楽しみである。

◆岸 卓巨 (9/15)

2015年のラグビーワールドカップ当時、私は日本スポーツ振興センターに勤務しており、大会後半より「日本紹介ブース」の運営でロンドンに入りました。これまでにロンドンやヨーロッパには何度も渡航していますが、あの時ほど、「日本」への賞賛を受けたことはなかったかもしれません。それほど、日本vs南アフリカでの勝利は世界中に驚かれたのだと思います。

月例会で映像を見ながら当時を思い出しました。今回大会ではどのようなドラマが生まれるのか。齋藤さんよりいただいた日程表を見ながら楽しみたいと思います

◆北原 由 (9/16)

当日19時までメンタル勉強会（慶応大学・東海林先生、質問メンタルトレーナー・藤代圭一氏、サッカーライター（指導者）・木之下潤氏）があり、ほぼ”あのシーン”しか見られませんでした。新たな交流もさせていただき楽しい時間でした。

ちなみにロシア戦はバックスタンドから観戦予定です。

◆齋藤守弘 (9/17)

この試合を最初から最後まで見たのは、当日のテレビ観戦以来でしたが、しっかりと感情移入して楽しめました。前半の最後の10分間、後半の最初の10分間の日本の身体を張った本気のディフェンスにとっても感動していたことを思い出していました。番狂わせの勝利のためにはとても重要な時間帯です。正直に言って、最後のスクラム選択は信じられませんでした。あの状況でミスをせずにトライを最後まで取り切ったことを素晴らしいと改めて思いました。試合終了後には、たくさんのお祝いのメールが友人・知人から届いて寝られなくなり、そうしているうちに現地で観戦していた友人・知人からもメールが飛び込んできて、ほとんど眠らずにラグビースクールの練習に行きました。とてもいい思い出です。

この試合のことを映画化した「ブライトン・ミラクル」の試写会が9/11にありましたので観てきました。

皆さんにも、ぜひ楽しんでいただきたいと思います。（現時点で劇場公開の予定は無く、Prime Videoでの提供になるようです）

◆徳田 仁 (9/17)

4年前にこの試合を見て感動した後、何日か経って「あれ？32対29からラスト1プレーでトライを決めて32対34で勝ったけど、なんで32対36じゃなかったのか？」と疑問がわきました。最後にコンバージョンゴールを蹴ったシーンを覚えてなかった（見てなかった）ので・・・蹴らなくても勝ちだから蹴らなかつたら・・・というモヤモヤを4年間持ち続けてました。調べればわかることなのにボーっと生きてました。

しかし、先日の観戦会で五郎丸が最後にキックを外した場面を見て、「やっぱり、コンバージョンは必ず蹴るのだ」めでたしめでたし、と納得していたところ、これまた先日のノーサイド・ゲーム最終回で劇的なトライを決めて試合が終わったと思われた後、レフェリーが七尾（眞栄田郷敦）にコンバージョンはどうする？と尋ね、七尾がノーゴールと答えるシーンを見て再び、「あ！やっぱり蹴らなくてもいいんだ」と気づいてしまった次第です（笑）

日本ではダメですが、英国など「賭け」が合法的な国では「何点对何点でどちらが勝つか」という賭けをやるので、コンバージョンを蹴るかどうかは賭けの勝負に重大な影響を及ぼすのではないかと心配してしまいます。

ラグビー・ルールのことでは、その他にも嶋崎解説委員に同じスピードで相手ゴールに向かって並走している2人のプレーヤーのうち、ボールを持ったプレーヤーが真横にいるもう一人にパスした場合、スローフォワードになるのか？ という物理学的な質問に答えていただきました。

ありがとうございました！

以上